※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　書道科

科目	硬筆習字Ａ	単位数	1
使用教科書	ペン習字ハンドブック（日本習字普及協会）		
副教材等	な　し		
レポート	３通		
必要出席回数	４回		
テスト	×　　（スクーリングで取り組む実技課題に代える）		
課題・実習等	レポートやスクーリングで実技課題あり		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本から学習していきます。教科書の字をもとに学習を進めますので、ポイントをおさえて書いていきましょう。
・スクーリング中の練習だけではなく自宅でも練習を重ねて、レポートは清書として取り組んでください。
・丁寧に、根気強く学習していくことが大切です。
・スクーリングには、教科書と鉛筆(４Ｂ～６Ｂ)を必ず持参してください。
準備のない場合、スクーリングを受けられないことがあります。
・あわせて硬筆習字Ｂを受講してください。

２　学習の到達目標

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、手書き文字の基礎的な技能を身に着け表す。
(2) 手書き文字のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫し、書の伝統と文化の意味や価値を考え効果的に表現する。
(3) 手書き文字の美しさ・大切さを味わい、主体的に書の表現及び鑑賞に幅広く取り組む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 手書き文字の基礎的な技能を身に付け、表している。	手書き文字のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫している。書の伝統と文化の意味や価値を考え、効果的に表現している。	手書き文字の美しさ・大切さを味わい、主体的に書の表現及び鑑賞に幅広く取り組もうとしている。

● 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の学習	1.楷書の学習	a：文字の大きさも含め、表現方法の基礎・基本を身に付け、課題の意図に基づいた効果的な表現ができている。 b：文字の構築的な構造や変化と統一感などを理解し、書写能力の向上に努めている。 c：内容を理解して自分のものとしている。計画的にレポートに取り組んでいる。	実技課題の理解度と文字の大きさ・配置・線質等の完成度。	スクーリング中の課題を理解して、丁寧に仕上げているか。	課題についての振り返りができているか。レポートとスクーリングの取り組み状況。
	漢字仮名交じり文・実用書の学習	2.漢字仮名交じり文の学習 3.実用書の学習 ・履歴書の書き方	a：目的や用途に即した形式と書き方を判断し、文字の大きさ、配列、書体など、それぞれに適した表現ができている。 b：文字の構築的な構造や変化と統一感などを理解し、書写能力の向上に努めている。 c：内容を理解して自分のものとしている。計画的かつ積極的にレポートに取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度